

2024年度（2025年3月期）  
第3四半期 決算補足説明資料  
(第3四半期決算及び通期連結業績予想修正)

2025年2月4日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想と大きく異なる場合があります。

# **I . 2024年度（2025年3月期）第3四半期決算**

# 連結損益比較表 (サマリー)

	2024年度3Q末	2023年度末	比較増減	
連結子会社	107社	107社	-	増加：3社 減少：3社
持分法適用関連会社	12社	13社	△1社	減少：1社
合計	119社	120社	△1社	

(単位：百万円)

	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減	増減率	主な増減要因
営業収益	804,380	736,387	+67,992	+9.2%	
営業利益 (事業利益)	92,661 (93,615)	90,533 (91,761)	+2,128 (+1,854)	+2.4% (+2.0%)	4ページ参照
営業外収益	17,534	14,225	+3,309		持分法による投資利益 +3,643
営業外費用	12,173	9,945	+2,228		支払利息 +918
経常利益	98,023	94,812	+3,210	+3.4%	
特別利益	2,027	2,117	△89		
特別損失	4,597	2,596	+2,001		持分変動損失 +2,036
親会社株主に帰属する 四半期純利益	67,974	62,810	+5,163	+8.2%	
(参考)					
減価償却費	47,525	46,117	+1,408		
金融収支 (A) - (B)	△7,030	△6,339	△691		
受取利息及び配当金 (A)	1,754	1,527	+226		
支払利息 (B)	8,785	7,866	+918		

(注) 事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益

# セグメント別営業成績（サマリー）

## 【当期業績のポイント】

国際輸送事業において貨物の取扱いが低迷していることに加えて、前年同期のスポーツ事業におけるプロ野球関連特需や旅行事業における自治体の支援業務受注等の一時的な要因の反動があったものの、不動産事業においてマンション分譲戸数が増加したことや、都市交通事業における需要の回復等により、増収・増益

（単位：百万円）

	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	その他	調整額	連結
<b>営業収益</b>									
2024年度3Q累計	157,492	241,592	66,686	47,160	201,331	77,833	43,274	△30,990	804,380
2023年度3Q累計	151,884	218,381	66,189	44,033	169,667	75,374	37,727	△26,870	736,387
比較増減	+5,608	+23,211	+497	+3,126	+31,664	+2,458	+5,546	△4,120	+67,992
<b>営業利益（事業利益）</b>									
2024年度3Q累計	29,837	40,534 (41,488)	14,593	3,638	7,559	△1,739	2,545	△4,308	92,661 (93,615)
2023年度3Q累計	28,848	35,373 (36,600)	15,938	3,282	8,339	732	1,651	△3,632	90,533 (91,761)
比較増減	+989	+5,161 (+4,887)	△1,344	+356	△780	△2,471	+893	△675	+2,128 (+1,854)

（注）事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益

# 都市交通セグメント

鉄道事業において阪急線・阪神線の旅客数が引き続き回復基調にあることや、北大阪急行電鉄の南北線延伸線の開業等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	157,492	151,884	+5,608	+3.7%
営業利益	29,837	28,848	+989	+3.4%

【業態別内訳】	営業収益			営業利益		
	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減
鉄道事業	1,152億円	1,108億円	+44億円	316億円	308億円	+8億円
自動車事業	334億円	324億円	+11億円	22億円	17億円	+4億円
流通事業	99億円	97億円	+2億円	13億円	12億円	+1億円
都市交通その他事業	57億円	50億円	+7億円	3億円	4億円	△0億円

(注) 別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

# 《都市交通》 鉄道運輸成績

## 《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	46,680	45,414	+1,265	+2.8	217,888	213,367	+4,520	+2.1
定期	25,073	24,436	+637	+2.6	245,059	240,809	+4,250	+1.8
うち通勤	21,735	21,101	+633	+3.0	169,885	166,124	+3,761	+2.3
うち通学	3,338	3,334	+3	+0.1	75,173	74,684	+488	+0.7
合計	うち鉄道駅バリアフリー料金 約27億円 71,753	同料金 約25億円 69,850	+1,903	+2.7	462,947	454,176	+8,770	+1.9

## 《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	17,369	16,788	+580	+3.5	89,045	86,104	+2,941	+3.4
定期	9,420	9,066	+354	+3.9	94,644	91,994	+2,650	+2.9
うち通勤	8,489	8,151	+338	+4.2	75,102	72,874	+2,228	+3.1
うち通学	930	914	+15	+1.7	19,542	19,120	+421	+2.2
合計	うち鉄道駅バリアフリー料金 約9億円 26,790	同料金 約8億円 25,854	+935	+3.6	183,690	178,098	+5,591	+3.1

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。  
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。  
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。  
 4. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、定期外収入・定期収入（通学除く）には鉄道駅バリアフリー料金を含んでいる。

# 不動産セグメント

分譲事業においてマンション分譲戸数が前年同期を上回ったことや、賃貸事業において大阪梅田ツインタワーズ・サウスをはじめとする各物件が堅調に推移したことに加えて、前年度末にオーエス株式会社を連結子会社化したこと、またホテル事業においてインバウンドを中心に宿泊部門が好調であったこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	241,592	218,381	+23,211	+10.6%
営業利益 (事業利益)	40,534 (41,488)	35,373 (36,600)	+5,161 (+4,887)	+14.6% (+13.4%)

【業態別内訳】	営業収益			営業利益 (事業利益)		
	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減
賃貸事業	1,054億円	947億円	+107億円	335億円	302億円	+32億円
分譲事業等	1,080億円	954億円	+126億円	106億円	63億円	+43億円
海外不動産事業	66億円	63億円	+3億円	14億円 (24億円)	32億円 (44億円)	△18億円 (△21億円)
ホテル事業	502億円	470億円	+32億円	42億円	37億円	+5億円

(注) 1.別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

2.事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益

# エンタテインメントセグメント

スポーツ事業は阪神タイガースの公式戦主催試合数・入場人員が増加し、グッズ販売も好調であったものの、前年同期にプロ野球関連特需があった反動等で減収・減益。ステージ事業は宝塚歌劇や梅田芸術劇場の公演回数が増加した一方で、梅田芸術劇場の公演原価ほか諸費用の増加等により増収・減益となり、全体では増収・減益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	66,686	66,189	+497	+0.8%
営業利益	14,593	15,938	△1,344	△8.4%

【業態別内訳】	営業収益			営業利益		
	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減	2024年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	比較増減
スポーツ事業	410億円	424億円	△13億円	128億円	139億円	△11億円
ステージ事業	256億円	238億円	+18億円	32億円	34億円	△2億円

(注) 別途、本社費・調整額があるため、上表の合算値とセグメント数値は一致しない。

# 情報・通信セグメント

情報サービス事業において交通システム分野の受注が増加したことや、放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	47,160	44,033	+ 3,126	+ 7.1%
営業利益	3,638	3,282	+ 356	+ 10.9%

# 旅行セグメント

海外旅行の需要回復等により増収となったものの、前年同期に自治体の支援業務を受注していた反動等により減益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	201,331	169,667	+ 31,664	+ 18.7%
営業利益	7,559	8,339	△ 780	△ 9.4%

# 国際輸送セグメント

海外法人において、為替の影響によって円換算額が増加したこと等により増収となったものの、日本や東アジアを中心に貨物の取扱いが低迷していること等により減益

(単位：百万円)

	2024年度3Q累計	2023年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	77,833	75,374	+ 2,458	+ 3.3%
営業利益	△ 1,739	732	△ 2,471	—

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2024年度3Q末	2023年度末	比較増減	主な増減要因																								
資産の部	流動資産	558,296	513,368	+44,927	販売土地及び建物 +60,843																								
	固定資産	2,602,032	2,539,561	+62,470	投資有価証券 +37,430 有形・無形固定資産 +22,211																								
	資産合計	3,160,329	3,052,930	+107,398																									
負債の部	流動負債	481,249	506,992	△25,742	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2024年度3Q末</th> <th>2023年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入金</td> <td>944,046</td> <td>895,628</td> <td>+48,418</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>290,000</td> <td>265,000</td> <td>+24,999</td> </tr> <tr> <td>コーポラル・ハ°-ハ°-</td> <td>30,000</td> <td>-</td> <td>+30,000</td> </tr> <tr> <td>リース債務</td> <td>12,325</td> <td>13,532</td> <td>△1,206</td> </tr> <tr> <td>連結有利子負債</td> <td>1,276,372</td> <td>1,174,160</td> <td>+102,211</td> </tr> </tbody> </table>		2024年度3Q末	2023年度末	比較増減	借入金	944,046	895,628	+48,418	社債	290,000	265,000	+24,999	コーポラル・ハ°-ハ°-	30,000	-	+30,000	リース債務	12,325	13,532	△1,206	連結有利子負債	1,276,372	1,174,160	+102,211
		2024年度3Q末	2023年度末	比較増減																									
	借入金	944,046	895,628	+48,418																									
社債	290,000	265,000	+24,999																										
コーポラル・ハ°-ハ°-	30,000	-	+30,000																										
リース債務	12,325	13,532	△1,206																										
連結有利子負債	1,276,372	1,174,160	+102,211																										
固定負債	1,560,528	1,475,505	+85,022																										
負債合計	2,041,777	1,982,497	+59,279	未払金の減少																									
純資産の部	株主資本	976,654	930,315	+46,339	親会社株主に帰属する四半期純利益 +67,974 支払配当 △14,472																								
	その他の包括利益累計額	49,229	48,483	+745																									
	非支配株主持分	92,667	91,634	+1,033																									
	純資産合計	1,118,551	1,070,432	+48,118																									
自己資本比率		32.5%	32.1%	+0.4 p																									

(注) 2025年3月期の期首より「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号)等を適用しており、2024年3月期に係る各数値は遡及適用後の数値を記載している。

## **Ⅱ. 2024年度（2025年3月期）通期業績予想**

# 連結損益比較表（サマリー）

	(単位：億円)						
	2024年度 今回予想 ①	2024年度 10月予想 ②	比較増減 =①-②	増減率	主な増減要因	2023年度 通期実績 ③	比較増減 =①-③
営業収益	11,000	11,000	—	—		9,976	+1,024
営業利益 (事業利益)	1,089 (1,100)	1,058 (1,070)	+31 (+30)	+2.9% (+2.8%)	営業収益は10月予想並みとなるものの、利益面では多くの事業において第3四半期の業績が堅調に推移したこと等により増益	1,057 (1,083)	+32 (+17)
経常利益	1,060	1,030	+30	+2.9%		1,094	△34
親会社株主に帰属する 当期純利益	700	700	—	—	上記の経常利益の増益があるものの、特別損失の増加等を見込むことにより、利益は10月予想並み	678	+22
(参考) 設備投資	1,332	1,484	△152			1,018	+314
減価償却費	654	658	△4			626	+28
金融収支 (A) - (B)	△99	△112	+13			△86	△13
受取利息及び配当金 (A)	18	13	+5			18	△0
支払利息 (B)	117	125	△8			104	+13

(注) 事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益

# セグメント別営業収益・営業利益（事業利益）

（単位：億円）

上段：営業収益 下段：営業利益 （事業利益）	2024年度 今回予想 ①	2024年度 10月予想 ②	比較増減 =①-②	主な増減要因	2023年度 通期実績 ③	比較増減 =①-③
合計	11,000	11,000	-		9,976	+1,024
	1,089	1,058	+31		1,057	+32
	(1,100)	(1,070)	(+30)		(1,083)	(+17)
[主な内訳]						
都市交通	2,100	2,086	+14	阪急線・阪神線ともに旅客数が10月予想を上回ること等により、増収・増益	2,033	+67
	347	341	+6		343	+4
不動産	3,663	3,722	△59	分譲事業において一部の短期回収型の賃貸マンションの売却時期を見直した事等により減収を見込むものの、ホテル事業の宿泊部門が好調に推移していることや、分譲事業における諸費用の減少等により増益	3,183	+480
	572	563	+9		498	+74
	(583)	(575)	(+8)		(524)	(+59)
エンタテインメント	813	795	+18	スポーツ事業において阪神タイガースのグッズ販売が好調に推移していることや、ステージ事業の観劇人員が10月予想を上回ること等により、増収・増益	826	△13
	110	103	+7		141	△31
情報・通信	701	701	-		646	+55
	67	67	-		61	+6
旅行	2,600	2,550	+50	国内旅行の取扱いが10月予想を上回ること等により、増収・増益	2,169	+431
	40	36	+4		50	△10
国際輸送	1,040	1,005	+35	販売価格の上昇等により増収を見込むものの、仕入価格の高騰等もあり、利益は10月予想並み	1,003	+37
	△20	△20	-		2	△22

（注）事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益

# 《都市交通》 鉄道運輸成績

## 《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2024年度 通期予想	2023年度 通期実績	比較増減	増減率	2024年度 通期予想	2023年度 通期実績	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	62,272	60,674	+1,597	+2.6	290,657	284,626	+6,030	+2.1
定期	32,983	32,244	+739	+2.3	318,082	313,294	+4,788	+1.5
うち通勤	28,877	28,141	+736	+2.6	225,636	221,032	+4,604	+2.1
うち通学	4,106	4,103	+3	+0.1	92,445	92,261	+183	+0.2
合計	うち鉄道駅バリアフリー料金 約36億円 95,255	同料金 約34億円 92,919	+2,336	+2.5	608,739	597,920	+10,819	+1.8

## 《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2024年度 通期予想	2023年度 通期実績	比較増減	増減率	2024年度 通期予想	2023年度 通期実績	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	22,972	22,242	+730	+3.3	117,944	114,356	+3,588	+3.1
定期	12,462	12,010	+451	+3.8	124,195	120,734	+3,461	+2.9
うち通勤	11,308	10,874	+433	+4.0	99,883	96,911	+2,971	+3.1
うち通学	1,154	1,136	+17	+1.6	24,312	23,822	+489	+2.1
合計	うち鉄道駅バリアフリー料金 約13億円 35,435	同料金 約11億円 34,253	+1,181	+3.5	242,140	235,090	+7,049	+3.0

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。  
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。  
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。  
 4. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、定期外収入・定期収入（通学除く）には鉄道駅バリアフリー料金を含んでいる。

# 経営指標

	2023年度 実績	2024年度 10月予想	2024年度 今回予想
事業利益 (① + ②)	1,083億円	1,070億円	1,100億円
営業利益 (①)	1,057億円	1,058億円	1,089億円
海外事業投資に伴う持分法投資損益 (②)	26億円	12億円	11億円
EBITDA ※1	1,732億円	1,750億円	1,780億円
有利子負債	11,742億円	13,200億円	13,400億円
有利子負債／EBITDA倍率	6.8倍	7.5倍	7.5倍
D／Eレシオ ※2	1.2倍	1.3倍	1.3倍
親会社株主に帰属する当期純利益	678億円	700億円	700億円
ROE	7.2%	7.0%	7.0%
(参考)			
ネット有利子負債 ※3	11,146億円	12,700億円	12,900億円
ネット有利子負債／EBITDA倍率	6.4倍	7.3倍	7.2倍

※1 EBITDA = 事業利益 (営業利益+海外事業投資に伴う持分法投資損益) + 減価償却費+のれん償却額

※2 D/Eレシオ = 有利子負債/自己資本 ※3 ネット有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金

# 《参考》 主なセグメントの業態別営業収益・営業利益（事業利益）

（単位：億円）

	営業収益					営業利益（事業利益）				
	2024年度 今回予想 ①	2024年度 10月予想 ②	比較増減 =①-②	2023年度 通期実績 ③	比較増減 =①-③	2024年度 今回予想 ①	2024年度 10月予想 ②	比較増減 =①-②	2023年度 通期実績 ③	比較増減 =①-③
都市交通 合計	2,100	2,086	+14	2,033	+67	347	341	+6	343	+4
[業態別内訳]										
鉄道	1,536	1,521	+15	1,480	+56	372	365	+7	371	+1
自動車	448	445	+3	437	+11	25	27	△2	24	+1
流通	130	130	-	128	+2	14	13	+1	14	+0
都市交通その他	107	97	+10	100	+7	9	8	+1	9	+0
不動産 合計	3,663	3,722	△59	3,183	+480	572 (583)	563 (575)	+9 (+8)	498 (524)	+74 (+59)
[業態別内訳]										
賃貸	1,407	1,405	+2	1,271	+136	400	400	-	381	+19
分譲等	1,900	1,946	△46	1,538	+362	216	205	+11	157	+59
海外不動産	102	106	△4	86	+16	42 (53)	49 (61)	△7 (△8)	32 (58)	+10 (△5)
ホテル	652	638	+14	627	+25	42	36	+6	41	+1
エンタテインメント 合計	813	795	+18	826	△13	110	103	+7	141	△31
[業態別内訳]										
スポーツ	471	463	+8	503	△32	94	90	+4	112	△18
ステージ	340	331	+9	322	+18	33	29	+4	48	△15

（注） 1. 各セグメントにおいて、別途、本社費・調整額があるため、業態別内訳の合算値と各セグメント数値は一致しない。

2. 事業利益 = 営業利益 + 海外事業投資に伴う持分法投資損益